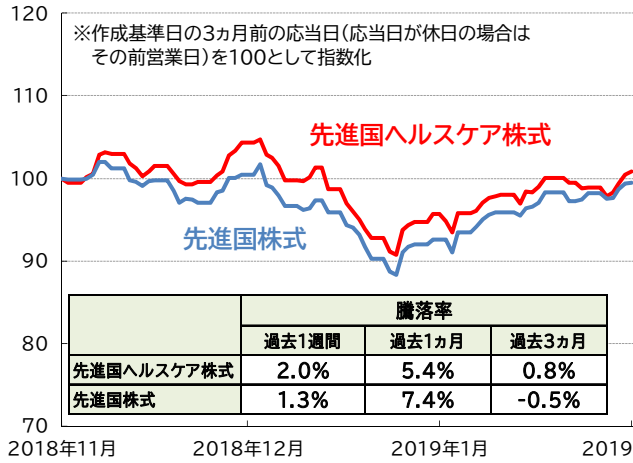


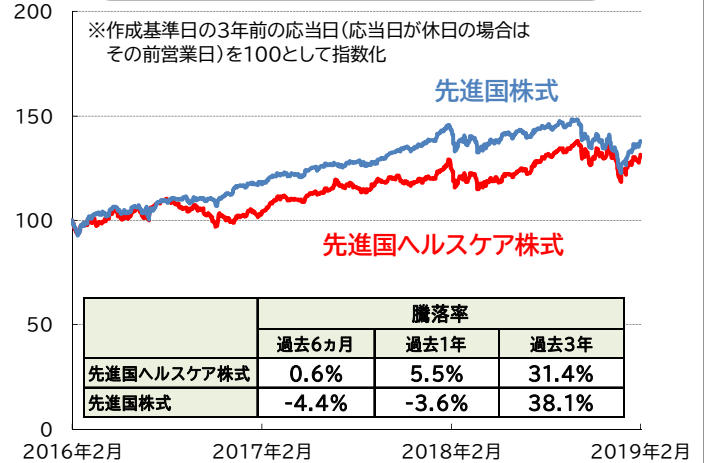
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
ザ・トリウス	11.6%
アゼルム	11.2%
アステラス製薬	10.4%
オーロラ・カンパニース	9.2%
ジノマー・バイオメット・ホールディングス (出所)Bloomberg	8.6%

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

	先進国株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	コミュニケーションサービス	公益
1株当たり利益成長率(年率、%) 実績→3期先予想	10.0	19.2	6.9	6.5	9.9	8.6	7.5	10.4	12.1	11.0	6.5
今期予想PER(倍)	14.8	16.3	15.0	13.4	14.5	15.3	17.8	10.5	17.4	15.8	16.2
3期先予想PER(倍)	12.4	13.4	12.2	11.6	12.5	12.8	15.4	9.0	14.0	12.8	14.2

■マーケット・コメント

先週は、先進国株式、先進国ヘルスケア株式は共に上昇しました。

・先進国株式は、世界経済の成長減速懸念などから下落して始まったものの、週半ばに発表された米連邦公開市場委員会(FOMC)の声明文で、米金融当局が追加利上げなど今後の金融政策について柔軟な姿勢を示したことなどが好感され、週間では上昇しました。セクター別では、生活必需品やエネルギーなどが上昇しました。

・先進国ヘルスケア株式は、先進国株式と同様に上昇し、セクター別では、医薬品やヘルスケア機器・用品などが上昇しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック「サンバイオと大日本住友製薬、「SB623」の脳梗塞臨床試験で主要評価項目未達」

サンバイオと大日本住友製薬は1月29日、米国で開発中の再生細胞薬「SB623」の脳梗塞を対象とした臨床試験で、主要評価項目を達成できなかったとの解析結果を発表しました。SB623については、昨年11月に外傷性脳損傷を対象とした臨床試験で良好な試験結果を発表して以降、薬剤の成長性に対する期待が高まり、これがサンバイオと大日本住友製薬の株価を押し上げる一因となっていたと考えられますが、今回の発表を受けて、両社の株価は大きく下落しました。SB623の今後の開発については、外傷性脳損傷を対象疾患とするものに関しては良好な臨床試験結果を得ていることから、引き続き開発を進めて日米での承認獲得を目指す一方、その他の疾患については開発の方法などを見直すとしています。今回の脳梗塞を対象疾患とした開発については、臨床試験データの詳細解析結果をもとに今後の開発計画を決定するとのことです。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

- 先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
- 先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した 株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他の財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。